



ご存知ですか？

「家族物語」は、女性スタッフで お手伝いをいたします。

ご葬儀を終えられたご家族にお話をお伺い致しました

Interview vol.15



鹿野川 厚子様

一家の大黒柱を見送って…

予期せぬ事態にオロオロ

夫は突然倒れて救急車で搬送され、そのまま亡くなってしまいました。あまりにも突然のことで、覚悟は全くできていませんでした。オロオロするばかりの私でしたが、孫娘（中2）がインターネットで調べ、いわさきさんがいいようだと薦めてくれたのです。

気づかいが感じられた当日の対応

夫の愛用の法被と思い出パネルを飾っていただいたこと、また、花祭壇にいただいたので、旅立ちの寂しさが和らいだことなど、“いい葬儀だった”と思える気づかいをいろいろしていただきました。



ありがたいオリジナル会葬礼状

打ち合わせなどの中で何気なく語ったことから、故人のひととなりを把握して、心あたたまる文章にさせていただき、ありきたりではないすてきな会葬礼状でした。礼状を手にとされた方にも好評でした。今でも大切にしております。

女性スタッフならではのやわらかな対応

わからないことだらけで不安な中、心に寄り添うあたたかな対応は女性ならではのと思いました。受付等をお手伝いいただいた組合の方々のお宅にも、葬儀後わざわざお礼に伺ってくださり、そのきめ細かな心遣いに感激いたしました。

良いご縁を結べました

全くの偶然から、いわさきさんに大事な葬儀をお任せしたわけですが、本当に何でも相談できて、スタッフの皆様は身内のように感じられました。また、コロナ対策もきちんとされていて安心でした。

Interviewer 齊藤 慶子